

## 活動内容

〈題〉「学校と家庭がお互いに信頼しあい、協力・連携するPTA」

学級名 盛岡市立仙北中学校PTA

学級担当者 佐藤 康之

## 1 学級の組織ならびに学習のねらい及び重点

- ・構成員 PTA会員 698名
- ・学級の運営組織 仙北中学校PTA(学年・学級委員会)
- ・学習のねらい・重点 ○授業参観・学年行事を通じて、学校教育への理解を深める。

## 2 学習計画と活動の状況

回	日時	講話題	講師(職・氏名)	参加人数
1	10月 14日(火) 1年生	「救急法講演会」	日本赤十字社岩手県支部 木村学さん・小澤太一さん・石橋峻さん 八幡晃代さん・関口天音さん・下本桂子さん	101名
	15日(水) 2年生	内容	感想など	
	16日(木) 3年生	心肺蘇生法(心臓マッサージとAEDの使用方法訓練)	昨年度から全校生徒が参加している救急法講習会に、今年度初めて保護者が参加した。子どもたちがきちんと講師の話を聞き、心肺蘇生法やAEDの使い方を学んでいた。2年目となると、スムーズにできる子どもたちもいた。実際に遭遇した時に実践できるよう、定期的な練習が必要だと感じた。私自身もとてもためになる講習会だった。	
2	日時	講話題	講師(職・氏名)	参加人数
	10月 17日(金) 3年生	キャリア講演会「扉を開け！道は君の目の前にある！」	社会福祉法人千晶会 太田の園地域生活支援センター 非常勤職員 鈴木 勝良さん	22名
	内容	感想など		
	幼い頃に事故で、両足を失った状況にも負けず、様々なことに挑戦してきた半生について	小さい時に事故で両足を失っても、野球など全てのことにチャレンジしていたことが特に印象に残った。周囲の仲間が車いすを押すことやスカイダイビングの挑戦に協力したのは、勝良さんの明るい性格のためだと感じた。進路を決めていくこの時期に子ども達と一緒に「鈴木さんの生き方」について聞く機会を持てたことは有意義だった。		

## 3 成果及び今後の課題

## (1) 成果・活動において工夫したこと など

- ・今年度よりPTA専門部廃止に伴い、PTA学年行事や専門部活動も廃止となった。授業参観週間を設定し、その期間、生徒と共に保護者も学ぶ機会を設定。多くの保護者の参加を得られた。

## (2) 今後の課題

- ・今年度同様、授業参観週間中の講演会実施に加え、SNS利用・性教育等、保護者も参加可能な講演会等広く周知し、保護者も共に学ぶ機会を設定する。

## (3) その他、今後の「学びのつどい」の在り方に関すること など

- ・PTA活動スリム化に伴い、組織改編し、専門部も廃止したため、これまでの家庭教育学級の形を継続できない。今年度実施したように、来年度以降も学校行事等で実施する講演会等へ保護者が参加する機会が、「学びの場・つどい」となる。